



田辺籠城戦国まつり 2022 in もうひとつの関ヶ原 舞鶴

田辺城の歴史に楽しみながら触れることのできるイベントを開催します。
舞鶴の歴史を自分の肌で感じてみませんか? 観光振興課 ☎66・1024

◆明倫館歴史教室2022

【日時】10月22日(土)14時~16時

【場所】西総合会館

【内容】田辺藩士で幕末から明治に近代日本の国づくりに多大な貢献をした石黒貫二の生涯を学ぶ

【定員】先着100人

◆田辺城フェスタ

【日時】10月23日(日)9時~12時

【場所】舞鶴公園一帯

【内容】ほくと鵬信会創立50周年記念事業として、お笑いライブやトークショー、甲冑着用体験ブースなど

◆戦国チャンバラ in もうひとつの関ヶ原 舞鶴

【日時】10月23日(日)12時30分~17時

【場所】舞鶴公園一帯

【内容】舞鶴公園芝生広場を舞台に迫力のチャンバラ合戦を開催。細川軍対西軍に分かれリアル田辺籠城を体感

【定員】先着300人(事前予約と当日受付あり)

【申し込み方法】事前予約分は10月22日(土)までに右コードで。



【その他】飲食ブースもあり

吉原の太刀振

市指定・府登録無形民俗文化財で、朝代神社に4年に1度奉納される伝統行事。田辺籠城の際に吉原地区の漁師たちが海の見張りを務めるなど貢献し、その功績から許された武道の型を伝えたものとされている。振りには8つの型があり、幼児~成人の男性が2人1組になって太鼓や笛のはやしに合わせて演じる。

【日時】11月3日(祝)9時~20時

【場所】朝代神社、舞鶴公園ほか

【その他】11月2日(祝)11時~16時30分に場ならし(予行演習)を水無月神社などで実施

【問い合わせ先】吉原太刀振保存会 会長の山尾さん ☎76・0751



田辺籠城とは?

全国の大名が東軍・徳川家康方と、西軍・石田三成方に分かれて戦った「関ヶ原の合戦」のおよそ2か月前に起こった、田辺城での戦いです。徳川方についた細川忠興制圧をめざし、西軍が1万5000人も軍勢で田辺城に攻め込みます。この時、忠興は東軍の会津攻めに参加して不在。細川軍は、忠興の父・幽齋率いるわずか500人の軍勢で迎え撃たなければなりません。この圧倒的不利の状況で幽齋がとった戦術が「籠城」です。落城寸前にまで追い込まれますが、朝廷はその当時随一の歌人であり古今伝授の伝承者である幽齋の討ち死にを憂慮し、使者を遣わせて、両軍に停戦を命じました。そして52日間にわたる籠城が幕を下ろしました。

3日後の関ヶ原の合戦では徳川家康が勝利。細川家は忠興の活躍とともに、幽齋が1万5000人の兵を田辺に足止めし関ヶ原に参戦させなかったことも評価され、11万石から39万石に大幅に加増され、九州へ領地替えとなりました。

▶明倫小学校に残る「明倫館」の門



こうした環境の中、田辺藩からは、その後舞鶴に鎮守府を誘致するために貢献することとなる伊藤雋吉など、現在の舞鶴を語る上でなくてはならない人材の育成に貢献しました。昨年、舞鶴は海軍鎮守府開庁120年を迎えましたが、その物語の歴史には、田辺藩が大きく関わっていたのです。

鎮守府開庁を迎えて
約270年続いた江戸幕府が倒れ、1868(明治元)年には明治新政府が誕生します。明治維新は今までにはない大変革でした。さらに舞鶴市民にとっては鎮守府開庁という大変革が待っていました。
1901(明治34)年の鎮守府開庁は西市街地にも大きな影響を与えます。特に大きなことは舞鶴駅(現JR西舞鶴駅)の設置です。鎮守府開庁による物資などの輸送

のため、1904(明治37)年に舞鶴駅が設置されると、駅と当時の西市街地の中心地である竹屋商店街や平野屋商店街を結ぶために真名井商店街が整備されたのです。
今回紹介したものは400年の歴史のほんの一つにすぎません。舞鶴市は城下町で栄えた西地区と海軍の町として栄えた東地区、それぞれの特徴を持ったとても面白いまちです。歴史や物語は今後もつながっていきます。

今につながる人材育成
明治時代まで田辺藩を治めた牧野家は、平和で安定した藩政に努め、藩主・藩士・藩民が一体となって繁栄を築きあげました。その繁栄の原動力となったのが、人材育成です。
天明年間(1781~1789)第6代藩主牧野宣成の時代に藩校「明倫齋」が田辺

城三ノ丸に開かれました。その後、文久年間(1861~1864)第9代藩主誠成の時代に学舎を増改築して、藩校明倫齋を「明倫館」に、明治維新後に「明倫小学校」となりました。
また、教養を身に付けた庶民も次世代の人たちを教育するために率先して寺小屋を営み、人材育成に努めました。



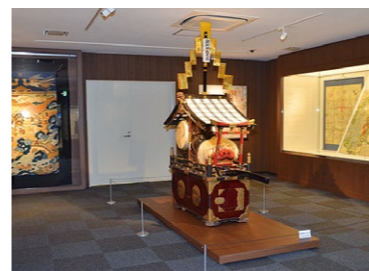
▲現在の真名井通り



▲昭和52年に完成したアーケード

▲昭和29年の真名井通り

もっと歴史を知りたい人は



郷土資料館
☎75・8836

【開館時間】9時~17時
【休館日】月曜日(祝日の場合はその翌々日)と祝日の翌日、年末年始
【住所】北田辺 51



田辺城資料館
☎76・7211

【開館時間】9時~17時
【休館日】月曜日(祝日の場合はその翌々日)と祝日の翌日、年末年始
【住所】南田辺 15-22